

環境通信 第31号 (12月号)



2025年(令和7年)12月発行(年4回発行)・発行元:大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

暮らしと環境のつながりを考える ～自然の恵みに支えられた私たちの暮らし～



アスまるとみらいさんが、1年を振り返りながら、これからの暮らしについて考えています。様子をのぞいてみましょう。



みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

登場人物



アスまるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター
「地球(アース)の明日(あす)をまもる」ため、
大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策に詳しい



今年も、あっという間に12月ですね。
振り返ってみると、今年は特に夏の暑さが厳しく、
「この暑さ、いったいつまで続くのかな」と感じました。



今年は、地球温暖化や自然環境の変化を感じる場面が多かった1年
でもあったね。



多くの人が「四季でなく、二季だな」と感じているようですね。



こうした気候の変化は、私たちの生活や自然環境にさまざまな影響
を与えているよ。



いま、私たちの身近で起きていること — 地球温暖化による暮らしへの影響 —

- ・夏の暑さが厳しくなり、熱中症のリスクが高まる
- ・大雨や台風など、極端な気象が起こりやすくなる
- ・農作物や自然環境にも影響が出てくる

気温が上がることで、「暑い」だけの問題
じゃないんですね。



そうなんだ。暮らしの安心や安全とも深く
つながっているんだよ。



生物多様性とのつながり 生き物たちにも変化が

地球温暖化の影響は、われわれ人間を含むすべての生き物に影響が
あるといっても過言ではないんだよ。



- ・今までにないスピードで変化する気候や、開発などにより、身近な
自然環境に変化が見られるようになっている
- ・生きものの種類や数が変わることで、自然のバランスや暮らしへの
影響が生じることがある

生き物の変化って、自然の話だと思いがちですが、私たちの生活
とも関係しているんですね。



そうだね。生きものや自然が、私たちの暮らしを支えてくれる
働きのことを、「生態系サービス」と呼ぶよ。



「生態系サービス」とはどのようなものでしょうか。



たとえば、きれいな水や空気、食べものが得られること。暑さ
を和らげたり、自然災害の影響をやわらげたりすることも、生
態系サービスの一つなんだ。



裏面に
つづく!

生態系サービスとは

私たちの暮らしは、食べものや水、安定した気候など、自然や生きものもたらす恵みによって支えられています。
こうした自然の働きは「生態系サービス」と呼ばれます。
生物多様性は、長い時間をかけて育まれてきた、かけがえのないものであり、それ自体に大きな価値があるため、大切に守っていく必要があります。



供給サービス
(例：食料)



調整サービス
(例：花粉媒介)



生息・生育地サービス
(例：生息環境)



文化的サービス
(例：レクリエーション)

自然が、私たちに直接役立つものを提供してくれる働き。
食べもの（米、野菜、魚など）水木材などの資源

自然が、環境の状態を調整し、暮らしを守る働き。
大雨の際に水をため、洪水を和らげる気温を和らげる空気や水をきれいにする

自然が、心の豊かさや文化を育む働き。
美しい景観自然に触れることによる安らぎレクリエーションや学びの場

生きものが、命をつなぐための場所を提供する働き。
動植物のすみか繁殖や成長の場生物多様性を支える基盤



私たちの生活は、これらの生態系サービスに支えられて成り立っています。自然の働きを知ることは、暮らしと環境のつながりを理解する第一歩です。

気候と生物多様性の危機は表裏一体の関係

産業革命以前に比べ、地球の気温は既に1.2℃上昇しています。

今後、温暖化を1.5℃未満にとどめなければ、気候変動が生物多様性損失の主要な原因となり続けることが予想されています。さらに、気候変動により、生物の生息地と食物がなくなること、種が絶滅するという事態も起こっています。

気候変動と生物多様性の損失という2つの危機はどちらも、人類が地球の資源を持続可能でないレベルで消費していることが要因です。

2つの危機は相互に影響し合って悪化するため、一方の問題を解決するには、もう一方の問題も考慮する必要があります。

わたしたちにできる、身近な工夫！

一人ひとりが、それぞれの立場で、環境問題を意識しながら、暮らしを見直すことがとても重要です。わたしたちにできる取組を教えてください。



- ・エネルギーを無駄なく使うことを意識する
- ・移動手段や、買い物の仕方を見直してみる
- ・環境に配慮した製品を選ぶ
- ・身近な自然や緑を大切にする
- ・物を長く使い、必要なものを選ぶ



こうした一つひとつの行動が、私たちの暮らしと環境を守ることにつながっていきます。

冬の省エネ対策で、地球にも家計にも優しい暮らし



寒い冬は、暖房や給湯などエネルギーの使用が増える季節だから、省エネ対策をすることで、地球にも家計にも優しい暮らしを目指すことができるよ！



冬の暖房時の室温を適切に保つ。（設定温度を1℃低くする）



こたつの設定温度は低めに。
温度調節を「強」から「中」に。



入浴は間隔をあけずに。



長時間使用しないときはプラグを抜く。



私たちの生活は、自然や生きものがもたらすさまざまな恵みに支えられています。地球温暖化や生物多様性の問題は、日々の暮らしの中にある重要なテーマです。無理のない範囲で、できることを少しずつ。この年末を機に、これからの暮らしと環境との関わりについて、あらためて考えてみませんか。

